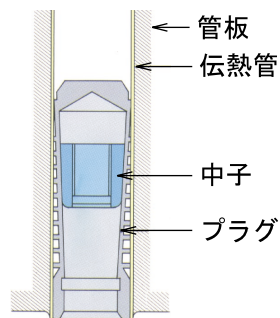


# 損傷発生原因と対策

## 損傷原因

平成3年に取り替えた旧振止め金具の取り付け位置に確認されており、過去に発生した進展性のない伝熱管外面の摩耗減肉の痕と考えられ、インテリジェントECTの使用により検出性が向上し、摩耗減肉の痕が検出されたものです。

## 対策



蒸気発生器伝熱管は、確立された技術であるプラグ取付け（施栓補修）を実施。